

社会データ構造化センター・ 社会調査事業グループ の活動

DS施設社会データ構造化センター
センター長 前田 忠彦

2021年3月4日
第5回社会データ構造化センターシンポジウム

社会データ構造化センター について：概観

ウェブサイト：

<http://csds.rois.ac.jp/>

データサイエンス共同利用基盤施設

<http://ds.rois.ac.jp/>

データサイエンスの推進を通じて
科学の発展や社会のイノベーションへの貢献を目指す

Topics		News	
2021/2/16	機構シンポジウムを開催します (2021/3/2オンライン開催)	2021/2/16	2020年度情報・システム研究機構シンポジウム「新型コロナ禍に 挑むデータサイエンス」(2021年3月...)
2021/2/4	追加募集します! (2021/2/5_ROIS-DS成果報告会)		
2021/1/8	2021年度 共同研究募集の予告		
2021/1/7	ROIS-DS成果報告会を開催します (2021/2/5開催)	2021/2/4	2021年度「統合データベース講習会:AJACS」のプログラムに関 するアンケートにご協力ください
2020/11/26	運営会議委員を掲載しました。		
2020/11/13	本サイトをリニューアルしました		
2020/8/20	Call for the Collaboration Program at ROIS-DS for the F.Y. 2020-2nd	2021/1/28	【シンポジウムのお知らせ】2021年3月4日開催 (社会データ構造化セ ンター)
2020/8/4	ROIS-DS-JOINT 2020 第2回目募集について (予告)		
2020/7/9	2020年度 共同研究募集の採択課題が決定しました/The results of acceptance of ROIS-DS-JOINT 2020 are decided		

組織

組織：データ共有支援、データ解析支援

The screenshot shows a web browser window displaying the website <https://ds.rois.ac.jp>. The page is titled "組織" (Organization) and features a grid of seven information cards, each representing a different center or project. The cards are arranged in two rows: three in the top row and four in the bottom row. Each card has a dark header with a title, a main title, and a brief description of its mission.

事業推進マネジメント	データ共有支援	データ共有支援	データ共有支援
データサイエンス推進室 プロジェクト事業推進のマネジメントを担当。	ライフサイエンス統合データベースセンター 生命科学分野のオープンサイエンス推進、ライフサイエンス・データベース統合化のための研究開発を推進 (JST/NBDCとの共同研究事業)	極域環境データサイエンスセンター 過去から現在に至る長大な時間軸を持った極域環境変動・地球システム変動に関する貴重なデータと、その分析・解析支援を提供する共同利用を推進	社会データ構造化センター 大学研究者のための社会調査データ、公的統計マイクロデータ、ソーシャルビッグデータに関するデータベースを整備。また、データ利用コミュニティを形成し、環境、治安、経済を含む各種の社会的課題の解決のための実証的研究を促進
データ共有支援	データ解析支援	データ解析支援	
人文学オープンデータ共同利用センター データサイエンスに基づく人文学（人文情報学）という新たな学問分野を創生するとともに、データを中心としたオープン化を推進することで、組織の枠を超えた研究拠点を形成・強化	ゲノムデータ解析支援センター 最先端のバイオインフォマティクス技術を駆使して大量のゲノム・トランスクリプトームデータから生物学的に重要な情報を得るためのデータ解析支援	データ同化研究支援センター データ同化計算技術による諸科学・産業界での課題解決	

設置目的

- データサイエンスの観点から、大学等の多様な分野の研究者に対し、大規模データ共有支援事業およびデータ解析支援事業と人材育成を行なうことで、我が国の大学等の研究力強化に貢献するとともにオープンサイエンスの実現を目指します。
- また、研究コーディネータによる学会ブース展示等により、事業紹介や相談受付、解析手法のアドバイスをを行い、大学等のデータ駆動型学術研究を支援しています。

推進する事業

• 支援事業（データ共有支援）

- 生命科学分野におけるデータ共有支援事業
- 極域環境科学分野におけるデータ共有支援事業
- **人間・社会分野におけるデータ共有支援事業←本センター**
- 人文学オープンデータ共有支援事業

• 支援事業（データ解析支援）

- ゲノムデータ解析支援事業（担当センター）
- データ融合計算支援事業（担当センター）

推進する事業（続）

- 人材育成事業
 - OJTによるデータサイエンス人材の育成
 - データサイエンス教育人材（DS教員）養成事業（パイロット事業として試行中）
- 公募型共同研究（ROIS-DS-JOINT）
 - **一般共同研究** ← 次の講演で紹介
 - 共同研究研究集会

社会データ構造化センター

<http://csds.rois.ac.jp/>

- 社会データ構造化センターは、社会調査データや公的マイクロデータやソーシャルビッグデータを整備し、広範な活用に供することで各種の社会的課題の解決のための実証的学問の促進、実証的データに基づく政策立案の実現のための研究基盤を発展させることを目標にしています。
- 3グループ+ α による活動
 - 社会調査関連事業
 - 公的マイクロデータ事業
 - ソーシャル・ビッグデータ事業
 - 共通テーマに関わる活動：Data Life Cycle Management
- 公募型共同研究

社会調査関連事業グループの活動紹介

次のような事業により、大学等の研究者の社会調査研究を支援

1. 各種社会データの整備と公開
 1. 統計数理研究所が実施した大規模学術調査
 1. 国内調査
 2. **「意識の国際比較調査」プロジェクト**
 2. 他組織との共同で実施した各種調査
2. 全国共同調査ネットワーク形成と共同調査の実施
 - **名古屋大学との事例**を
 - 他に大阪大学-SSPプロジェクトへの協力
3. 社会調査の実施に伴う「コンプライアンス」に関わる課題の研究と普及
 - **Data Life Cycle Management in Social Survey**

社会調査関連事業 の活動紹介

ウェブサイト：

http://csds.rois.ac.jp/about_SSG.html

- 「意識の国際比較調査」プロジェクト
- 全国共同調査ネットワーク形成 プロジェクト
- 社会調査におけるデータ・ライフサイクル・マネジメント

など

「意識の国際比較調査」 プロジェクト

国際比較調査プロジェクトの活動

- 過去に実施した調査結果をWebサイトに随時公開。
- 特に各調査の集計表の作成と公開を実施。
- データ公開の準備にも着手。

Q1 日本人全体の生活水準は、これから先の5年間によくなると思いますか、それとも悪くなると思いますか。
 1 非常によくなるだろう
 2 ややよくなるだろう
 3 変わらない
 4 ややわるくなるだろう
 5 非常にわるくなるだろう
 8 その他
 9 わからない

意識の国際比較調査

データ・アーカイブ

アジア・太平洋価値観国際比較調査 (APVS) 2010-14

環太平洋価値観国際比較調査 (PRVS) 2004-09

東アジア価値観国際比較調査 (EAVS) 2002-05

中国人の国民性調査 (北京、上海) 2001

ハワイ住民 (日系人を含む) 1999-2000

米国本土 (西海岸) の日系人 1998-99

ブラジルの日系人の意識調査 1991-92

日米欧7か国比較 1985-93

ハワイ住民 (日系人を含む) 米国本土アメリカ人 1978-83

ハワイ在住の日系人 1971

アジア・太平洋価値観国際比較調査

日本 U S A 北京 上海 香港 台湾 韓国 シンガポール オーストラリア インド



地図および国名アイコンをクリックすると調査概要と結果をご覧いただけます。

アジア・太平洋価値観国際比較調査について

解析結果・出版物の紹介

単純集計の比較表

	1	2	3	4	5	8	9	Total	N
Total	0.2	9.3	43.2	37.0	8.7	0.1	1.5	100.0	852
Gender									
Male	0.5	11.3	38.0	37.5	11.3	0.3	1.1	100.0	371
Female	-	7.7	47.2	36.6	6.7	-	1.9	100.1	481
Age									
18-24	-	8.1	54.1	29.7	8.1	-	-	100.0	37
25-29	-	10.3	48.7	38.5	-	-	2.6	100.1	39
30-34	-	12.5	56.3	28.1	3.1	-	-	100.0	64
35-39	-	8.1	50.0	37.1	4.8	-	-	100.0	62
40-44	-	5.5	43.6	34.5	16.4	-	-	100.0	55
45-49	1.4	13.7	35.6	39.7	9.6	-	-	100.0	73
50-54	-	12.2	35.1	44.6	8.1	-	-	100.0	74
55-59	-	4.1	33.8	51.4	9.5	-	1.4	100.2	74
60-64	-	4.6	39.4	38.5	16.5	-	0.9	99.9	109
65-69	-	6.4	42.6	36.2	11.7	1.1	2.1	100.1	94
70 or Older	0.6	13.5	45.6	31.0	4.7	-	4.7	100.1	171
Age by Male									
18-24	-	5.9	47.1	35.3	11.8	-	-	100.1	17
25-29	-	13.3	53.3	33.3	-	-	-	99.9	15
30-34	-	11.5	61.5	23.1	3.8	-	-	99.9	26
35-39	-	13.0	34.8	47.8	4.3	-	-	99.9	23
40-44	-	8.3	29.2	37.5	25.0	-	-	100.0	24
45-49	3.3	10.0	30.0	40.0	16.7	-	-	100.0	30
50-54	-	17.2	31.0	41.4	10.3	-	-	99.9	29
55-59	-	5.3	28.9	55.3	10.5	-	-	100.0	38
60-64	-	5.9	39.2	37.3	17.6	-	-	100.0	51
65-69	-	8.7	39.1	39.1	8.7	2.2	2.2	100.0	46
70 or Older	1.4	19.4	37.5	27.8	9.7	-	4.2	100.0	72
Age by Female									
18-24	-	10.0	60.0	25.0	5.0	-	-	100.0	20
25-29	-	8.3	45.8	41.7	-	-	4.2	100.0	24
30-34	-	13.2	52.6	31.6	2.6	-	-	100.0	38
35-39	-	5.1	59.0	30.8	5.1	-	-	100.0	39
40-44	-	3.2	54.8	32.3	9.7	-	-	100.0	31
45-49	-	16.3	39.5	39.5	4.7	-	-	100.0	43
50-54	-	8.9	37.8	46.7	6.7	-	-	100.1	45
55-59	-	2.8	38.9	47.2	8.3	-	2.8	100.0	36
60-64	-	3.4	39.7	39.7	15.5	-	1.7	100.0	58
65-69	-	4.2	45.8	33.3	14.6	-	2.1	100.0	48
70 or Older	-	9.1	51.5	33.3	1.0	-	5.1	100.0	99

これまでの国際比較調査

- 1971 Honolulu Residents with Japanese ancestry ハワイ日系人調査
- 1978 Honolulu Residents, Americans in the Mainland
- 1983 Honolulu Residents
- 1988 Honolulu Residents
- 1991 Japanese Brazilians (JB) in Brazil ブラジル日系人調査
- 1998 Americans with Japanese ancestry on the West coast of U.S.A. 米国西海岸日系人調査
- 1999 Honolulu Residents with Japanese ancestry
- 1987-1993 Seven Country Survey (Japan, USA, & 5 European Nations) 日米欧7ヶ国比較
- 2002-2005 East Asia Values Survey (EAVS) 東アジア価値観国際比較
- 2004-2009 Pacific-Rim Values Survey (PRVS) 環太平洋価値観国際比較
- 2010-2014 Asia-Pacific Values Survey (APVS) アジア・太平洋価値観国際比較

国別データの結合と公開準備

- ハワイ調査に始まる国際調査のなかでも比較的初期のものである日米欧7カ国国際比較調査のデータの整備をおこなった。
- 過去に実施した国際調査の公開データとコードブックの作成。データの比較分析のためには国別データの結合が不可欠だが、国独自の情報もあるため難しい項目もある。
 - 古いものほど不明瞭な項目が多く、各国の調査票や関連書類も電子化されておらず、データの確認や修正が難しい。
 - 古いデータのため設問やラベルなどの情報が不完全であったり、紙媒体も手書きのものがあり不明瞭なことも。
 - 社会の違いや時代背景の違いの人々の価値観のデータのため、データの結合が難しいものがある。

- 「日米欧7カ国国際比較調査データ（1985-93）」の公開データの準備。
 - 日本、アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ、西ドイツ。
- 各国の情報を集めることが難しい時代の調査のため、Data Harmonizationが難しい項目が存在する。
 - 通貨の違いと国内物価の違い、宗教や政治思想の違い、などを比較分析できるようにするために共通の数値・指標にまとめ直したデータの作成。

1	Protestant
2	Catholic
3	Buddhism
4	Other
5	No religion

信仰宗教のまとめ

7カ国の代表的な信仰宗教でまとめ直したが、キリスト教を教派で分けて集計したのは欧米だけで、神道や仏教が多数派の日本では「キリスト教」で集計。そのため欧米と結合できず、日本のキリスト教徒はOtherにせざるを得なかった。

	1 Rural	2 Midway	3 Urban
Italy	1	2, 3	4
France	1	2, 3	4, 5
W.Germany	1-3	4-6	7
Holland	1-3	4, 5	6, 7
England	1	2	3
America	2, 3 (1 is not used)	4-11	12
Japan	1	2, 3	4, 5

在住都市規模のまとめ

どれほどの人口数でrural, urbanとなるかは総人口の違いなどから国によって異なる。

学歴のまとめ

ヨーロッパ5カ国は学校を終えた年齢を尋ねて分類した。イギリス、フランス、西ドイツはEurobarometerに準拠。イタリア、オランダはその国の教育制度に基づいて3段階に分類。

アメリカと日本は学歴を答えてもらったが、卒業よりも入学試験の方が重要な日本は中退・在学でも卒業とみなして学歴を答えてもらっているので最終学歴の意味が他の国と異なっている。アメリカは大学の中退と大学卒業の2つの選択肢を作成したが、その2つを合併すると人数が多すぎるためにhighは大学卒業のみとしたため、日米でもhighの内容を完全に一致させることができなかった。

	1 low	2 middle	3 high
Italy	1	2	3
France	1	2	3
W.Germany	1	2	3
Holland	1	2	3
England	1	2	3
America	1-4	5-7	8
Japan	1, 2	3	4

	1 progressive	2 center	3 conservative
Italy	1-3	4-7	8-10
France	1-3	4-7	8-10
W.Germany	1-3	4-7	8-10
Holland	1-3	4-7	8-10
England	1-3	4-7	8-10
America	1-3	4-7	8-10
Japan	1-3	4-7	8-10

政治思想 Left-Right

違いの測定が困難なため全て同じように再測定したが、戦前からフランスでは頻繁に共産党が連立政権に入るが冷戦期の西ドイツでは共産党が一時期違法とされていたなど政治思想の土台に違いがあり、議論の余地は残る。

Data Harmonization

- 新しいデータほど円滑なData Harmonizationのための事前の準備をされているが、それでも国ごとの社会制度の違いや文化の違いから完全に一致するデータを作ることは困難。
- どのようなHarmonizationの手法が国際調査データの品質向上に役立つか、この研究も重要な課題。

国際比較調査の共同研究プロジェクトへの協力

- 2020-DS施設-Joint Research Program／一般共同研究
 - 「意識の国際比較データの公開と個人情報保護のあり方に関する国際連携研究」
 - アメリカで保管されていた調査票や書類などの紙媒体の移管手続きをおこない、管理と情報確認を実施。
 - 「継続的国際比較調査データの二次分析と公開方法の実証的検討」
 - 「ウェルビーイングに関するアジア8ヶ国での国際比較インタビューデータの整備と公開」
- データ収集・データ分析の協力。ただし今年度はコロナ禍により国外での活動は困難。主にオンライン会議による協力。

- 国際比較調査に関する研究成果
 - Shibai, Kiyohisa. (2020). Research on Different Happiness Factors in the Asia-Pacific Area: Economics, Politics, and Social Capital. *The Senshu Social Well-being Review* (7): 15-26.
 - Shibai, Kiyohisa. (2021, forthcoming). Fear of War, Social Unrest, and the Security Dilemma. *Diverse Mechanisms of Social Well-Being in Asia*, edited by M. Kanai, J. Kobayashi, & J. Yee: Springer
 - 芝井清久. (2020). Data Analyses of Correlation between Armed Conflict and Social Capital. 日本行動計量学会第48回大会.

全国共同調査ネットワーク 形成プロジェクト

プロジェクト概要

- 大学等の研究者との共同により、共同調査の設計から実施、データ解析までの支援活動を行います。
 - データ取得そのものではなく、その先の公開・共有を見据えた協力体制の構築
 - 調査設計支援
 - ファカルティが蓄積したノウハウの活用
 - 調査データ解析支援
 - 余力がなく十分なリソースを割けない、解析のみの支援は行っていない
 - 「社会調査」の非専門家であるような研究分野の研究者の支援も目標、領域架橋型の研究を

他機関との共同研究事業

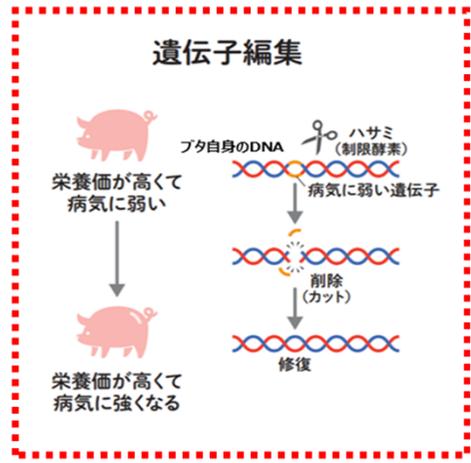
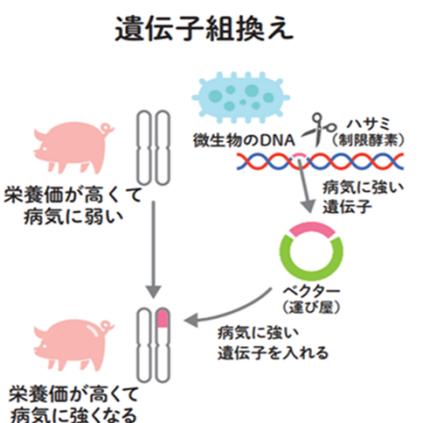
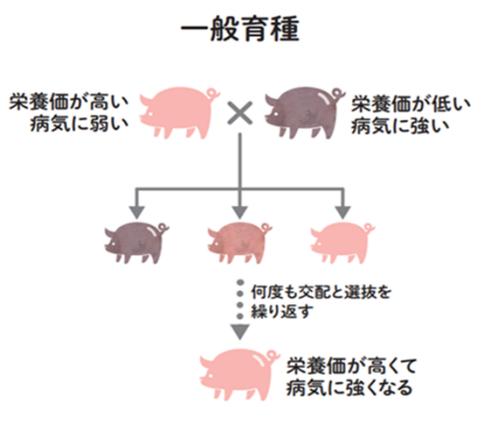
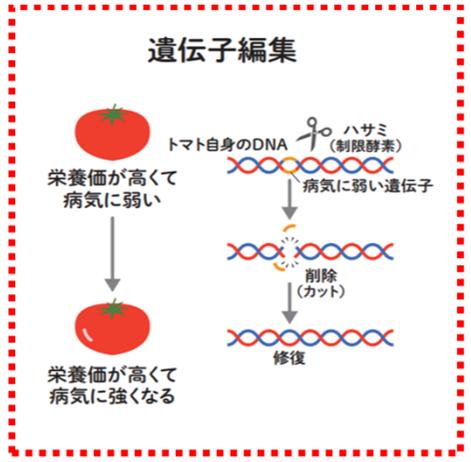
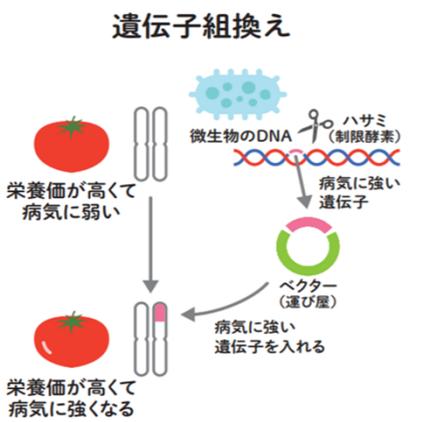
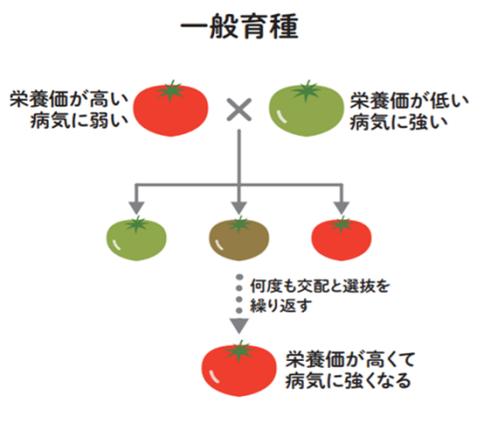
- ・ 名古屋大学環境学研究科との共同研究

課題1：ゲノム編集技術の社会受容に関する研究（立川教授）

課題2：『日本人の国民性調査』を用いた占領改革に関する戦後
国民意識の歴史学的検証（賀茂特任講師）

←こちらは、公募型共同研究の枠内で

ゲノム編集技術の社会受容に関する研究



インターネット調査を用いた実験野菜（トマト）群と動物（ブタ）群の比較

たったひとつの情報の違い（絵の違い）がリスク意識の多寡に影響を与え得る。

グループ間の意識の違いの統計的比較

項目	グループ	n	平均値	標準偏差	F値	df	t値 (Welch's test)																																																																																																								
家畜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	2.86	1.09	13.25	4495.68	3.50***																																																																																																								
	ブタ	2,288	2.97	1.06				家畜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	2.70	1.10	10.04	4499.06	3.98***	ブタ	2,288	2.82	1.07	家畜を病気に強くする	トマト	2,226	3.59	1.01	9.24	4493.40	4.38***	ブタ	2,288	3.72	0.98	家畜の肉の栄養価を高める	トマト	2,226	3.38	1.05	0.06	4504.60	3.88***	ブタ	2,288	3.50	1.04	家畜の肉の味を良くする	トマト	2,226	3.40	1.06	0.19	4504.88	4.08***	ブタ	2,288	3.53	1.05	野菜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	3.18	1.04	0.00	4504.82	0.89	ブタ	2,288	3.20	1.03	野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32	ブタ	2,288	3.04	1.05	野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74
家畜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	2.70	1.10	10.04	4499.06	3.98***																																																																																																								
	ブタ	2,288	2.82	1.07				家畜を病気に強くする	トマト	2,226	3.59	1.01	9.24	4493.40	4.38***	ブタ	2,288	3.72	0.98	家畜の肉の栄養価を高める	トマト	2,226	3.38	1.05	0.06	4504.60	3.88***	ブタ	2,288	3.50	1.04	家畜の肉の味を良くする	トマト	2,226	3.40	1.06	0.19	4504.88	4.08***	ブタ	2,288	3.53	1.05	野菜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	3.18	1.04	0.00	4504.82	0.89	ブタ	2,288	3.20	1.03	野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32	ブタ	2,288	3.04	1.05	野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02								
家畜を病気に強くする	トマト	2,226	3.59	1.01	9.24	4493.40	4.38***																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.72	0.98				家畜の肉の栄養価を高める	トマト	2,226	3.38	1.05	0.06	4504.60	3.88***	ブタ	2,288	3.50	1.04	家畜の肉の味を良くする	トマト	2,226	3.40	1.06	0.19	4504.88	4.08***	ブタ	2,288	3.53	1.05	野菜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	3.18	1.04	0.00	4504.82	0.89	ブタ	2,288	3.20	1.03	野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32	ブタ	2,288	3.04	1.05	野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																				
家畜の肉の栄養価を高める	トマト	2,226	3.38	1.05	0.06	4504.60	3.88***																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.50	1.04				家畜の肉の味を良くする	トマト	2,226	3.40	1.06	0.19	4504.88	4.08***	ブタ	2,288	3.53	1.05	野菜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	3.18	1.04	0.00	4504.82	0.89	ブタ	2,288	3.20	1.03	野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32	ブタ	2,288	3.04	1.05	野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																																
家畜の肉の味を良くする	トマト	2,226	3.40	1.06	0.19	4504.88	4.08***																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.53	1.05				野菜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	3.18	1.04	0.00	4504.82	0.89	ブタ	2,288	3.20	1.03	野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32	ブタ	2,288	3.04	1.05	野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																																												
野菜のサイズを2割大きくする (1.2倍にする)	トマト	2,226	3.18	1.04	0.00	4504.82	0.89																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.20	1.03				野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32	ブタ	2,288	3.04	1.05	野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																																																								
野菜のサイズを5割大きくする (1.5倍にする)	トマト	2,226	3.00	1.07	0.03	4503.74	1.32																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.04	1.05				野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74	ブタ	2,288	3.73	0.98	野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																																																																				
野菜を病気に強くする	トマト	2,226	3.71	0.96	0.00	4511.56	0.74																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.73	0.98				野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28	ブタ	2,288	3.70	1.00	野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																																																																																
野菜の栄養価を高める	トマト	2,226	3.69	1.01	0.49	4505.56	0.28																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.70	1.00				野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74	ブタ	2,288	3.65	1.02																																																																																												
野菜の味を良くする	トマト	2,226	3.65	1.02	0.11	4508.52	0.74																																																																																																								
	ブタ	2,288	3.65	1.02																																																																																																											

課題 1 : 共同研究の成果

論文

1. Naoko Kato-Nitta, Tadahiko Maeda, Yusuke Inagaki, and Masashi Tachikawa. (2019) Expert and public perceptions of gene-edited crops: Attitude changes in relation to scientific knowledge. *Palgrave Communications*. **5**, Article number: 137 (2019)
2. 立川雅司, 加藤直子, 前田忠彦, 稲垣佑典, 松尾真紀子 (2020) ゲノム編集技術の動物応用をめぐる社会的課題、『フードシステム研究』26 (4), 283-288.
3. Naoko Kato-Nitta, Yusuke Inagaki, Tadahiko Maeda, Masashi Tachikawa. (2021, in press.) Effects of information on consumer attitudes towards gene-edited foods: A comparison between livestock and vegetables. *BMC CABI Agriculture and Bioscience*.

 **BMC** Part of Springer Nature

 **CABI Agriculture and Bioscience**

国際招待講演

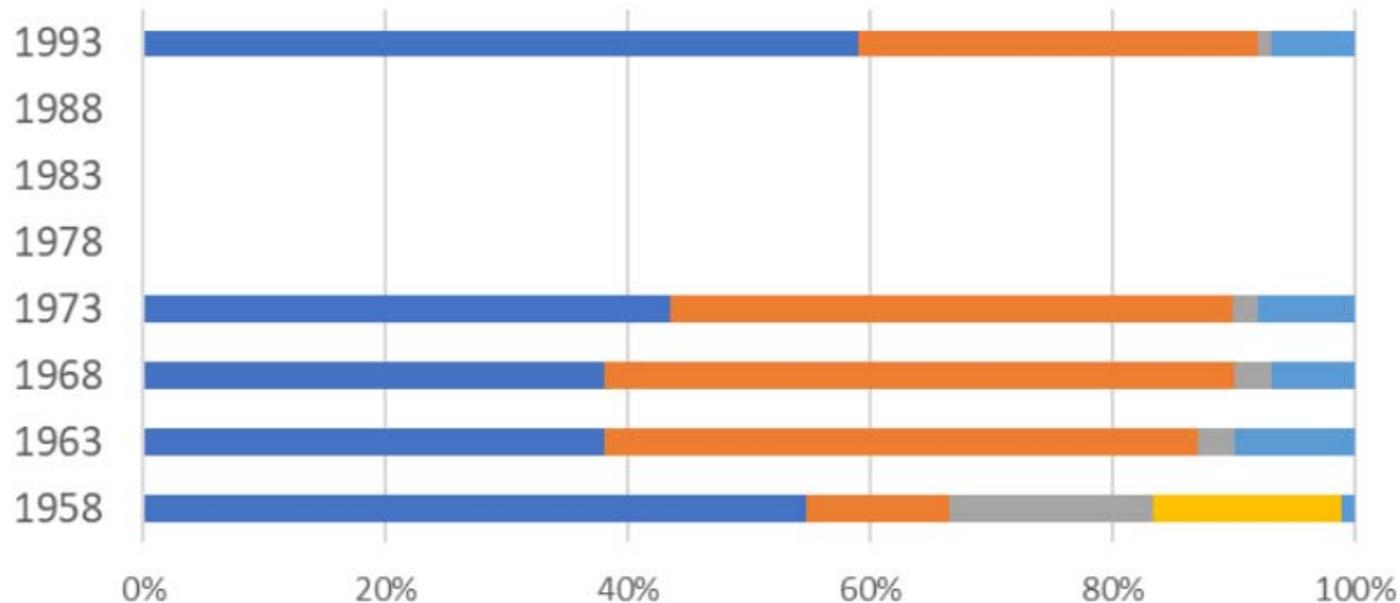
- Naoko Kato-Nitta. Gene Editing in Agriculture and Food: Social Concerns, Public Engagement and Governance virtual conference held on October 20, 2020. The conference was organized by Iowa State University and Keystone Policy Center. (アイオワ州立大、2020年10月20日)

課題2：占領期直後の日本人の民主主義に対する態度に影響を与える要因は何か？

- 歴史史料（GHQ文書）からのデータと「日本人の国民性調査」のデータを統合した統計分析

■ よい ■ 時と場合 ■ よくない ■ わからない ■ その他

「民主主義はよいか」



CIA映画を観る人々



社会調査におけるデータ・ライフサイクル・マネジメント
Data Life Cycle Management
in Social Survey

Data Life Cycle Management

～社会調査プロセスとデータライフサイクル再構築の必要性～

- オープンサイエンスやオープンデータが世界的な潮流となり、社会調査などを含む社会科学系データに関しても、広く社会で共有し、活用されることが期待されている
- 一方で、データやプライバシーを保護するための社会制度の再構築も世界各国・地域で進められている。
 - 欧州の**データ保護に関するGDPR（General Data Protection Regulation：一般データ保護規則）の施行を契機**として、**社会制度の再構築が世界中で進められている**。
 - 日本でも、2020年6月に個人情報保護法の改正され、さらに今後データの利活用を見据えて、さらなる改正が検討されている
- 世界的にデータ・プライバシー保護に関する社会制度の再構築が進む中で、データの公開・共同利用とプライバシー保護を両立するために、社会調査を含めて**データの収集・管理・運用・廃棄の各プロセス（データライフサイクル）**を、新たなプライバシーや個人情報保護に関する社会制度に適応させることが求められている。

Data Life Cycle Management

～社会調査プロセスとデータライフサイクル再構築の必要性～

- 日本でも個人情報・データ保護に関して個人情報保護法を改正し、欧州のGDPRに準拠した新たな社会制度の構築が進められている。
- この結果、社会調査を含めて、**オープンサイエンス・オープンデータを見据えて、新たなデータライフサイクルマネジメントを構築する**ことが求められている。



Data Life Cycle Management ~社会データ共有のために~

プライバシー保護とデータの共有・共同利用を両立させるためには、社会調査データを含むデータの収集・管理・運用・廃棄のプロセス（データライフサイクル）が、個人情報とプライバシー保護に関する社会制度に適合していることが求められる。

我が国におけるの社会調査プロセスでは...

データマネジメントプラン (DMP)

- 世界各国では、特に公的資金により実施された研究に関しては研究データの公開が求められる。
- このため、公的研究資金に応募する際には、データの公開を前提としたDMPの提出が求められる。
- 日本でも一部の公的研究資金では、DMPの義務化が行われており、今後この義務化の動きは拡大するものと考えられる。

データ利用に関する同意取得

- 従来、データを公開したり社会全体で共同利用することを想定せず社会調査は実施されてきた。
- このためデータの公開や社会全体での共同利用に関する明確な同意取得を得ることなく社会調査を実施してきた。

国際共同調査

- 個人情報・データ保護に関する社会制度やその運用は国や地域によって異なる。
- 例えば、EUやアメリカ（カリフォルニア州）では、その国や地域の法律（GDPRやCCPA (California Consumer Privacy Act)）に適合した形でデータライフサイクルのマネジメントをおこなうことが求められる。

研究者の責任

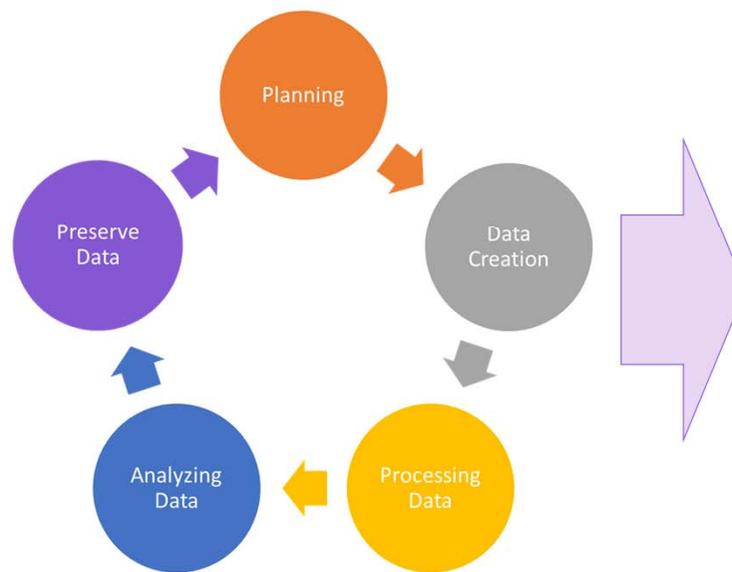
- データライフサイクルマネジメント(DLMC)に関する法的な知識、特に国際共同研究を行う場合などに研究者自身が各国の社会制度に関する十分な知識を得ることは難しい。
- このため、研究者はDLMCに関する十分な知識がないまま、データライフサイクルを研究者の責任において、適切にマネジメントすることが求められる。

社会データ構造化センターの取組

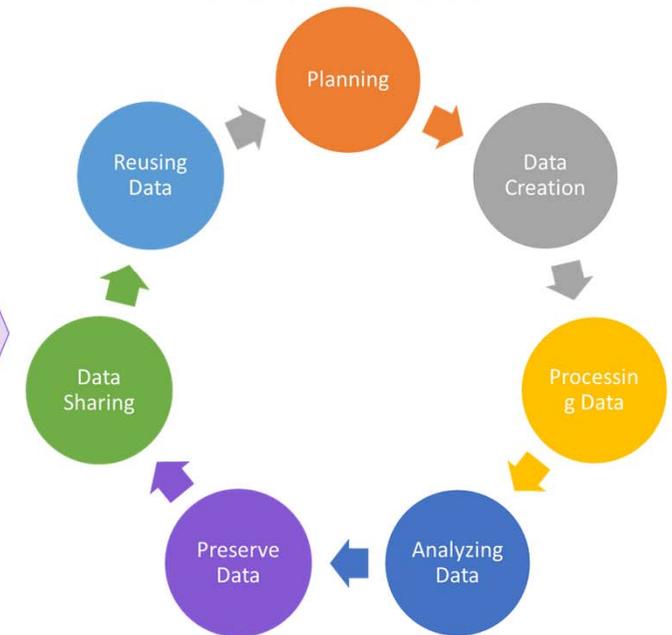
～データライフサイクルの再構築のために～

- 社会調査データの収集と公開
- 匿名化手法を含めたデータの公開方法に関する調査と提案
- DLCMに関する研究者支援と関連ドキュメントの公開
- 法的知識を含むデータ・プライバシー保護制度に関する動向の調査と情報公開

現在の社会調査におけるDLCM



オープンサイエンス・オープンデータ時代に求められるDLCM



Source :

<https://biblio.uottawa.ca/en/services/faculty/research-data-management/what-research-data-management>

成果の公表サイト：

- 「**データライフサイクル・マネジメントの推進**」プロジェクトの概要

http://csds.rois.ac.jp/about_DLCCM.html

- データライフサイクル・マネジメントに関する研究者支援（関連資料は[こちら](#)）

http://csds.rois.ac.jp/about_ssp_document.html

公募型共同研究課題

2020年度

研究代表者	所属・職位	課題名
鄭躍軍	同志社大学/文化情報学部/ 教授	継続的国際比較調査データの二次分析と公開方法の実証的検討
吉野諒三	同志社大学/文化情報学部/ 特別客員教授	意識の国際比較データの公開と個人情報保護のあり方に関する 国際連携研究
金澤雄一郎	国際基督教大学/教養学部/ 教授	組織において信頼されることの文脈に沿った理解：国際共同研究
賀茂道子	名古屋大学/ 大学院環境学研究科/ 特任講師	社会調査データを活用した戦後国民意識と占領改革の 関連性の歴史的検証
小舘亮之	津田塾大学/総合政策学部/ 教授	多次元尺度法を用いたオープンデータ・ビッグデータからの 消費者感性情報の抽出とマーケティングへの利用研究
伊藤伸介	中央大学/経済学部/ 教授	データ構造から見た公的統計マイクロデータの 利活用のあり方に関する研究
Masayuki Kanai	Senshu University/ School of Human Sciences/ Professor	ウェルビーイングに関するアジア8ヶ国での 国際比較インタビューデータの整備と公開